

第 10 回全国高校生介護技術コンテスト課題（事前課題）

栃木明子さん（78歳・女性）は2年前に脳梗塞を発症し、その後遺症として左上下肢不全麻痺の状態である。夫が他界後、長男夫婦と一緒に生活していたが、長男夫婦が仕事の関係で介護ができなくなったため、1ヶ月前より介護老人保健施設に入所となった。

入所当初は体調を崩すことも多かったが、最近は施設での生活にも慣れ始め、体調を崩すことも少なくなった。職員とコミュニケーションをとるようになってからは、積極的にリハビリテーションにも取り組むようになり、自分のことは自分でやりたいと伝えるようになった。また、家で生活をしたいという思いが入所当初より強くなっている。

健康状態 心身機能 身体構造	<ul style="list-style-type: none"> ・脳梗塞の後遺症による左上下肢不全麻痺がある。（利き手は右手） ・認知症の症状は特にみられない。 ・左半側空間無視 ・高血圧 ・要介護度：要介護1 ・障害高齢者の日常生活自立度判定基準：A1
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・寝返り：手すりを使用すれば、自立している。 ・移動：ホール内では、右手と右足を使って車いすで移動している。ただし、廊下や居室は幅が狭く、車いす操作に不安があるため、車いす移動の介助が必要である。座位保持は可能である。支えがあれば、立位は可能である。車いすやベッド等への移乗は一部介助が必要である。 ・食事：スプーンを使用し、自力で普通食を摂取している。スポーツドリンクが好きである。 ・排泄：尿意や便意はある。日中はトイレ、夜間はポータブルトイレを使用しており、一部介助が必要である。 ・更衣：健側を活用し自分で行うが、一部介助が必要である。 ・睡眠：夜間はよく眠れている。 ・コミュニケーション：意思伝達ができ、書字は可能である。
参加	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇時間には職員と一緒に俳句や手紙を書いている。 ・立位訓練や手指訓練などのリハビリテーションに参加している。 ・洗濯ものたたみを行っている。 ・地域のイベントで、自作の俳句を出展している。
個人因子	<p>78歳、女性。高校卒業後は織物工場で働き、20歳で結婚、息子二人と娘一人を出産した。性格は穏やかで口数は少ないが、気の合う利用者や職員とのコミュニケーションはとれている。責任感が強く、自分のことはなるべく自分でやりたいという思いを持っている。長男夫婦と週に一度は手紙のやり取りをしており、毎回自分で施設のポストに手紙を投函し返事を楽しみにしている。</p>
環境因子	<p>夫の他界後、長男夫婦と住んでいた。入所後、長男夫婦は半月に一度面会に訪れる。居室には、家族の写真が飾られている。</p>

使用できる 物品	<p>車いす：ULTRA多機能（自走）NA-U2W 座幅40幅 エアリー仕様 ベッド（2モーター）：PKB-ASFA（95cm×205cm） マットレス / マットレスパッド / 枕 / ボックスシーツ1枚 / 綿毛布 ベッドサイドレール2つ：ロット番号 VP10070300 型式 BG-75J 机2台 / 手紙入り封筒 / ポスト / 写真立て2つ / 床頭台 タオル（大1枚、中1枚、小2枚） / かご2つ / クッション（大2つ、中 2つ、小2つ） / カーディガン</p> <p>※別紙3、別紙4も参照してください。 ※使用できる物品については、全てを使用する必要はありません。</p>
-------------	--